

「スターよ永遠に 追善浮世絵展」

出品目録

2006年7月22日～8月27日

千葉市美術館

No.	作家名	作品名	制作年
1		極楽道中圖(初代坂東しうかの死絵)	安政2(1855)年3月以降
2		八代目市川団十郎の死絵(乍憚口上)	嘉永7(1854)年8月以降
3	歌川豊国	四代目瀬川路考の死絵	文化9(1812)年11月以降
4	歌川国貞	四代目瀬川路考(木村默老編『芝翫帖』のうち)	嘉永7(1854)年成立
5	窪俊満	二代目沢村田之助	文化13(1816)年～文化14(1817)年頃
6	歌川国貞	二代目沢村田之助の死絵	文化14(1817)年1月以降
7	歌川広重	七代目市川団十郎の源太と三代目市川門之助の梅が枝	文政4(1821)年
8	歌川国貞	三代目市川門之助の死絵	文政7(1824)年7月以降
9	歌川国貞	三代目坂東三津五郎の重忠と七代目市川団十郎の景清	文政10(1827)年
10	歌川国貞	三代目坂東三津五郎・二代目岩井糸三郎・三代目尾上菊五郎・五代目瀬川菊之丞・七代目市川団十郎	文政(1818～1830)中期頃
11	歌川国貞	三代目坂東三津五郎の死絵	天保3(1832)年1月以降
12	歌川国貞	五代目瀬川菊之丞の死絵	天保3(1832)年1月以降
13	歌川豊国(三代)	三代目坂東三津五郎の工藤左衛門祐経	文久3(1863)年
14	歌川豊国	初代中村源之助の曾我十郎祐成・五代目瀬川菊之丞の工藤奥方なぎの葉・二代目岩井糸三郎の曾我の箱王丸	文政5(1822)年
15	歌川国貞	二代目岩井糸三郎の揚巻	文政(1818～1830)後期頃
16	歌川国貞	六代目岩井半四郎の死絵	天保7(1836)年4月以降
17	歌川豊国(三代)	五代目松本幸四郎の幡隨長兵衛	文久3(1863)年
18		五代目松本幸四郎の死絵	天保9(1838)年5月以降
19	歌川国貞	早勘平 尾上菊五郎	文化13(1816)年
20	歌川豊国(三代)	三代目尾上菊五郎の天竺徳兵衛	万延元(1860)年
21		三代目尾上菊五郎の死絵	嘉永2(1849)年4月以降
22	歌川豊国(三代)	五代目市村竹之丞の安部保名	文久2(1862)年
23	歌川国芳	五代目市村竹之丞の死絵	嘉永4(1851)年8月
24	歌川国貞	『俳優団人伝 二編』	天保4(1833)年
25	歌川豊国(三代)・歌川国芳	五代目市川海老蔵と四代目中村歌右衛門	嘉永3(1850)年
26	歌川豊国(三代)	四代目中村歌右衛門の舎人松王丸	文久3(1863)年
27	醉放邊人(歌川国芳か)	四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5(1852)年2月以降
28	歌川国芳	濡髪長五郎(四代目中村歌右衛門の死絵)	嘉永5(1852)年2月以降
29		『中村翫雀追善集引札』	嘉永5(1852)年2月～3月
30	歌川国芳・歌川豊国(三代)	『翫雀追善はなしどり』	嘉永5(1852)年2月刊
31	歌川国芳・歌川豊国(三代)	『翫雀追善はなしどり』	嘉永5(1852)年2月刊
32	歌川国貞	三代目市川門之助・二代目市川新之助・七代目市川団十郎	文政7(1824)年
33	歌川国貞	八代目市川団十郎の外郎壳(『俳優三十六歌仙』)	天保6(1835)年
34	歌川豊国(三代)	『伊達茂夜雨』	嘉永2(1849)年
35	歌川豊国(三代)	八代目市川団十郎の揚巻の助六	万延元(1860)年
36		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
37	歌川国芳	八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
38		八代目市川団十郎の死絵(猿若町)	嘉永7(1854)年8月以降
39		八代目市川団十郎の死絵(賽の河原)	嘉永7(1854)年8月以降
40		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
41	歌川豊国(三代)	地雷也の変身(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
追加出品		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
42		八代目市川団十郎の死絵(書置を認める)	嘉永7(1854)年8月以降
43		八代目市川団十郎の死絵(切腹しようとする)	嘉永7(1854)年8月以降
44		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
45		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
46	長谷川 貞信	八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
47	歌川国芳他	『水魚連狂歌双六』	嘉永7(1854)年8月以降
48	歌川豊国(三代)	初代坂東しうかの橋本屋抱白糸	万延元(1860)年
49		初代坂東しうかの死絵	安政2(1855)年3月以降
50		初代坂東しうかの死絵	安政2(1855)年3月以降
51	歌川国貞	七代目市川団十郎の達磨(鶴廻屋序文栗三収集『摺物帖』のうち)	文政4(1821)年

No.	作家名	作品名	制作年
52	歌川広重	七代目市川団十郎の武智左馬之介(鶴廻屋序文栗三収集『摺物帖』のうち)	文政4(1821)年
53		『延猿狂句集』	天保2(1831)年12月
54	歌川国貞	『俳優崎人伝 初編』	天保4(1833)年
55	歌川豊国(三代)	五代目市川海老蔵の武藏坊弁慶	万延元(1860)年
56		五代目市川海老蔵の死絵	安政6(1859)年3月以降
57	歌川豊国(三代)	四代目尾上菊五郎の乳人政岡	万延元(1860)年
58	歌川豊国(三代)	四代目尾上菊五郎の死絵	万延元(1860)年6月以降
59	歌川豊国(三代)	八代目片岡仁左衛門の亀屋忠兵衛	万延元(1860)年
60	歌川芳虎	八代目片岡仁左衛門の死絵	文久2(1862)年10月以降
61	歌川豊国(三代)	豊國漫画圖繪 蛇丸(三代目市川市蔵)	万延元(1860)年
62	歌川豊国(三代)	三代目市川市蔵の髪結才三郎	慶応元(1865)年
63	豊原国周	三代目市川市蔵の死絵	元治2(1865)年3月以降
64	歌川豊国(三代)	当狂言二番目大切淨瑠璃 女太夫 岩井紫若 女馬士 河原崎国太郎 娘分 市川新車 香具師 河原崎三升	元治元(1864)年2月
65	豊原国周	初代河原崎国太郎の死絵	慶応3(1867)年4月
66	豊原国周	初代市川女寅死絵	明治12(1879)年5月
67	歌川豊国(三代)	豊國漫画圖繪 筑紫権六(二代目沢村訥升)	安政6(1859)年
68	落合芳幾	俳優写真鏡 花垣七三郎 沢村訥升	明治3(1870)年
69	歌川国輝(三代)	四代目高屋高助の死絵	明治19(1886)年2月以降
70	歌川豊国(三代)	四代目中村芝翫の清水の児捨若丸	万延元(1860)年
71	歌川豊国(三代)	豊國漫画圖繪 雲切仁左衛門(四代目中村芝翫)	万延元(1860)年
72	楊洲周延	四代目中村芝翫の死絵	明治32(1899)年1月
73	豊原国周	五代目尾上菊五郎の小間物屋才次郎	明治20(1887)年
74	豊原国周	歌舞伎座中満久 皿屋舗化粧姿鏡	明治25(1892)年
75	歌川国貞(三代)	五代目尾上菊五郎死絵	明治36(1903)年2月
76	歌川豊国(三代)	豊國漫画圖繪 おぼう吉三(初代河原崎権十郎)	万延元(1860)年
77	豊原国周	河原崎三升改 九代目市川団十郎	明治7(1874)年7月頃
78		九代目市川団十郎の死絵	明治36(1903)年9月以降
79		心のうち (八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
80		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
81		高野山麓 鏡石の図(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
82		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
83		むかしばなし (八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
84		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
85	歌川豊国(三代)	曾我兄弟(市川猿藏の死絵)	安政2(1855)年9月以降
86		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
87		初代坂東しうかの死絵	安政2(1855)年3月以降
88	豊原国周	初代河原崎国太郎の死絵	慶応3(1867)年以降
89	歌川国貞	五代目瀬川菊之丞と三代目坂東三津五郎の死絵	天保3(1832)年1月以降
90	歌川国貞	五代目松本幸四郎死絵(六代目岩井半四郎三回忌追善)	天保9(1838)年5月以降
91		白井権八と女長兵衛 (初代坂東しうかの死絵)	安政2(1855)年3月以降
92	歌川豊国(三代)	四代目尾上菊五郎と女房お蝶の死絵	万延元(1860)年6月以降
93		五代目市村竹之丞の死絵	嘉永4(1851)年8月以降
94		五代目市村竹之丞の死絵(異版)	嘉永4(1851)年8月以降
95	歌川国芳	八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
96	歌川国芳	八代目市川団十郎の死絵(異版)	嘉永7(1854)年8月以降
97		四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5(1852)年2月以降
98		四代目中村歌右衛門の死絵(五代目市村竹之丞に会う)	嘉永5(1852)年2月以降
99		四代目中村歌右衛門の死絵(五代目市村竹之丞に会う)	嘉永5(1852)年2月以降
100		極楽より斬雀仏を出迎えの図(四代目中村歌右衛門の死絵)	嘉永5(1852)年2月以降
101	歌川国芳	八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
102		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
103		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
104		八代目市川団十郎の死絵(大津絵節替え歌)	嘉永7(1854)年8月以降
105		江戸下り娘(四代目尾上菊五郎の死絵)	万延元(1860)年6月以降
106		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
107		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
108	歌川国芳か	八代目市川団十郎の死絵(書置を認める)	嘉永7(1854)年8月以降
109	歌川国芳か	八代目市川団十郎の死絵(書置を読み返す)	嘉永7(1854)年8月以降
110		難波夢涙種替紋(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
111	歌川国貞(二代)	三代目市川市蔵の死絵	元治2(1865)年3月以降
112	歌川国貞(三代)	五代目尾上菊五郎の死絵(短冊を認める)	明治36(1903)年2月以降

No.	作家名	作品名	制作年
113		平清盛(四代目中村歌右衛門の死絵)	嘉永5(1852)年2月以降
114		八代目市川団十郎の死絵(舞台口上)	嘉永7(1854)年8月以降
115	歌川豊国(三代)	早野勘平(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
116	歌川豊国(三代)	不破伴左衛門(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
117	歌川豊国(三代)	横曾根平太郎(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
118		曾我五郎(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
119	歌川国芳	六の玉顔(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年9月
120		初代坂東しうかの死絵	安政2(1855)年3月以降
121		八代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)	嘉永7(1854)年8月以降
122		八代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)	嘉永7(1854)年8月以降
123		八代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)	嘉永7(1854)年8月以降
124		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
125		八代目市川団十郎の死絵(閻魔序)	嘉永7(1854)年8月以降
126		八代目市川団十郎の死絵(極楽浄土)	嘉永7(1854)年8月以降
127	三代歌川国貞	九代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)	明治36(1903)年9月以降
128	歌川国貞	極楽の初顔見世(三代目坂東三津五郎の死絵)	天保2(1831)年12月以降
129	歌川国芳	祇王・祇女・仏御前(初代岩井杜若の死絵)	弘化4(1847)年4月以降
130	歌川豊国(三代)	初代岩井杜若(五代目岩井半四郎)の死絵	弘化4(1847)年4月以降
131		三代目尾上菊五郎の死絵	嘉永2(1849)年4月以降
132		五代目市村竹之丞の死絵	嘉永4(1851)年8月以降
133	酔放散人(歌川国芳か)	四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5(1852)年2月以降
134		四代目中村歌右衛門の死絵(袴を履く)	嘉永5(1852)年2月以降
135		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
136		雲野当麻之助(八代目市川団十郎の死絵)	嘉永7(1854)年8月以降
137		八代目市川団十郎の死絵	嘉永7(1854)年8月以降
138		初代坂東しうかの死	安政2(1855)年3月以降
139		しうかなごり文(坂東しうかの死絵)	安政2(1855)年3月以降
140	歌川豊国(三代)	四代目尾上菊五郎と女房お蝶の死絵	万延元(1860)年6月以降
141	豊原国周	初代河原崎国太郎の死絵	慶応3(1867)年4月以降
142	柳々居辰斎	元祖少長百五十回忌追善	文化(1804-1818)後期～文政(1818-1830)前期
143	歌川豊国(三代)	三代目中村歌右衛門七回忌曳幕	弘化元(1844)年
144	錦木清方・鳥居清忠(四代)	窓月梅姿絵(五代目尾上菊五郎三十三回忌追善摺物)	昭和10(1935)年
145	落合芳幾・柴田是真	くまなき影	慶応3(1867)年序